

「地図豆」の地図を広げて街歩き

39-1 ひたすら山手線に沿って 距離合計 66.0km (駅間 34.5km)



東京駅前

○第1日 東京～田町 9.0km

(東京～田町駅間距離 4.6km) 東京～有楽町 (0.8km)、新橋 (1.1km)、浜松町 (1.2km)、田町 (1.5km)

JR 東京駅→丸ビルを支えた杭→JR 高架下に沿って→鍛冶橋架動橋→南町奉行所跡不明 (出土品展示有楽町イトシア地下1階広場) →JR 有楽町駅→数寄屋橋の碑など→山下架動橋先路地→山下架動橋先高架下商店街→銀座柳の碑→JR 新橋駅→1 等水準点 No15-02 と三角点「新橋」→烏森神社→新橋駅南高架下商店街→汐留再開発商店街→福沢・近藤両翁学塾跡→浜松町駅→芝大神宮・カ石→お台場の石垣石 (みなと図書館入口) →有章院霊廟 (重文) →増上寺・徳川家霊廟→ペルリ提督の碑・遣来施設記念碑→東照宮の几号水準点→伊能忠敬測量遺功表→JR 浜松町駅→1 等水準点 No15-04 不明→芝鹿島社の几号水準点→勝海舟・最郷隆盛会見の地碑 (第一田町ビル) →JR 田町駅

○第2日 田町～大崎 8.5km

(田町～大崎駅間距離 4.2km) 田町～品川 (2.2km)、大崎 (2.0km)

JR 田町駅→1 等水準点 No8→1 等水準点 No15-005→札の辻橋→新芝運河→低いトンネル「提灯殺しのガード」→高輪大木戸の几号水準点→泉岳寺→二本榎・高輪消防署出張所→桂坂→高輪海岸の石垣石 (高輪二丁目交差点) ・高輪神社→桂坂→洞坂→東禅寺 (イギリス大使館跡) →高輪公園・1 等水準点 No9→光福寺 (ゆれい地蔵) →高輪プリンス H→JR 品川駅→1 等水準点 No15-007→八ツ山橋・品川宿→善福寺・法禅寺・正徳寺塀など→

品川神社→東海禪寺→品川硝子製作所跡・東海禪寺墓地（沢庵和尚・渋川景保・井上勝・賀茂真淵の墓）→御殿山の坂→目黒川→JR 大崎駅

○第 3 日 大崎～恵比寿 7.0km

（大崎～恵比寿駅間距離 3.6km）大崎～五反田（0.9km）、目黒（1.2km）、恵比寿（1.5km）
大崎駅→居木神社→観音寺→五反田駅→ねむの木の庭→タイ国大使館（花房山）→徳蔵寺（石造り地蔵菩薩など）→目黒川→目黒雅叙園→大円寺（とろけ地蔵・勢至菩薩石像など）→行人坂→目黒駅→権之助坂→湘南新宿ライン長者丸踏切→恵比寿ガーデンプレイス→恵比寿麦酒記念館→アメリカ橋→泉明寺→別所坂馬頭観音・恵比寿道しるべ→別所坂庚申堂→目黒新富士跡→恵比寿神社→恵比寿駅

○第 4 日 恵比寿～代々木 7.5km

（恵比寿～代々木駅間距離 4.3km）恵比寿～渋谷（1.6km）、原宿（1.2km）、代々木（1.5km）
恵比寿駅→内記坂→代官山駅→代官坂→乗泉寺→コスモプラネタリウム渋谷→渋谷川→渋谷駅→スペイン坂・オルガン坂→二・二六事件慰霊碑→国木田独住居跡（ポケットパーク）→穂田川・キャッツストリート→穂田川南池への支流分岐→穂田川南池支流→旧参道橋→竹下通り→東郷神社→原宿駅→原宿皇室専用駅→明治神宮北参道→穂田川南新宿への支流→代々木駅

○第 5 日 代々木～大塚 13.0km

（代々木～目白駅間距離 7.3km）代々木～新宿（0.7km）、新大久保（1.3km）、高田馬場（1.4km）、目白（0.9km）、池袋（1.2km）、大塚（1.8km）
代々木駅→新宿御苑千駄ヶ谷門→新宿御苑正門→天龍寺→新宿駅→モザイク通り→思い出横丁→新宿大ガード→（四季の道→）歌舞伎町→コリアタウン→新大久保駅→戸山公園→高田馬場駅→清水川橋（神田川）→相馬坂・氷川神社→下落合野鳥の森→薬王院→七曲り坂・おとめ山公園→道路の中の大ケヤキ→学習院大学（血洗池）→目白駅→目白庭園→上り屋敷公園→自由学園→元池袋史跡公園・池袋駅→池袋チャイナタウン・ロマンス通り→稲荷大明神・池袋水天宮→池袋六叉路→庚申塚・都電荒川線→天祖神社→大塚駅

○第 6 日 大塚～日暮里 10.0km

（大塚～日暮里駅間距離 4.7km）大塚～巣鴨（1.1km）、駒込（0.7km）田端（1.6km）、西日暮里（0.8km）、日暮里（0.5km）
目白駅→大塚架動橋→すがも地蔵通り商店街・高岩寺→本妙寺・慈眼寺門前不染橋石碑→染井霊園（井戸・松浦武二郎墓碑・長池跡）→染井吉野（桜）碑・巣鴨駅→六義園→（駒込富士神社→）駒込駅→駒込東公園→アザレア通り・田端銀座商店街→大龍寺（正岡子規墓）→室生犀星・菊池寛旧宅跡→田端文士村記念館→田端駅→芥川龍之介旧居跡→与楽寺

坂・幽霊坂→向陵稻荷坂・ひぐらし坂→西日暮里駅→西日暮里公園（道灌山）→青雲寺・修性院→六阿弥陀道→浄光院寺→富士見坂→ゆうやけだんだん→諏訪台通→延命院→谷中せんべい・佃煮の萩→御殿坂（下御隠殿橋）→経王寺・本行寺→日暮里駅

○第7日 日暮里～東京 11.0km

（日暮里～東京駅間距離 5.9km）日暮里～鶯谷（1.2km）、上野（1.1km）、御徒町（0.6km）、秋葉原（1.0km）、神田（0.7km）、東京（1.3km）

日暮里駅→駄菓子屋・羽二重団子→ねぎし三平堂→子規庵・書道博物館→とうふ笹の雪→鶯谷駅→入谷鬼子母神→源空寺（伊能忠敬墓）→下谷神社→仏具街→上野駅→上野大仏山→すり鉢山→清水観音堂→アメ横→御徒町駅跡→秋葉原駅→滝沢馬琴住居跡→万世橋→（連雀町→）柳森神社（靱蔵跡力石群）→千葉道場跡→お玉が池跡（千代田区岩本町 2-5・繁栄於玉稻荷大明神）→神田駅→登録有形文化財 丸石ビル（千代田区鍛冶町 1-10）→竜閑橋（千代田区・中央区界、竜閑橋交差点）→日本最古の鉄道アーチ橋・竜閑橋可動橋→常盤橋公園→北町奉行所跡 and 同碑大丸デパート正面から窓に沿って左隣接ビル側へ出小さな自動ドア手前）→東京駅距離合計 66.0km（駅間 34.5km）



湘南新宿ライン長者丸踏切

【みどころ概説】

00JR 東京駅：辰野金吾設計 1914 年竣工の東京駅丸の内駅舎は、現在保存・復原工事中である

- 01 旧丸ビルを支えた松杭：1923年に竣工した旧丸ビルを支えたのは、長さ15m、5443本の松杭であった。その1本が保存されている。
- 02 旧東京中央郵便局：現在再開発中の東京中央郵便局は、旧庁舎（1939年竣工）の前面外壁は保存される予定であり、その時計の針は取り外されて寂しい。
- 03JR 高架下に沿って、はとバス乗り場：このあたりは、はとバス乗り場で常に混雑していて、待合室や事務所は鉄道高架下にある。
- 04 鍛冶橋架道橋：鍛冶橋架道橋は、時代を感じる煉瓦造りの高架橋だ
- 05 有楽町駅北高架下：半円形にくり抜かれた形の高架下には飲食店などが軒を連ねる。
- 06JR 有楽町駅：有楽町駅付近は、南町奉行所跡だったところ。
- 07「有楽町で逢いましょう」の碑：1957年にフランク永井が唄いヒットした、歌謡曲『有楽町で逢いましょう』の碑がある。
- 08 数寄屋橋の碑：『君の名は』の再会・待ち合わせ場所となった数寄屋橋は、交差点名としてのみ残る。小公園の傍らに数寄屋橋の碑。そして、明治大学発祥の地碑もある。
- 09 泰明小学校：著名人が卒業生に名を連ねる泰明小学校は、近代化遺産に指定され、鉄筋コンクリートの壁にはいい感じで蔦が這う。隣接して2代目銀座の柳もある。
- 10 山下架道橋先高架下路地：高架下を南北に新橋駅まで地下通路が続く。小さな飲食店がいくつかあるほかは、JR関連の会社事務所が多く連なる不思議な空間だ。
- 11 山下架道橋先高架下商店街：ここから新橋にかけては、延々と飲食店などが軒を連ねる。
- 12 銀座の柳の碑：銀座煉瓦街の発足当初植えられた並木は一旦撤去。昔恋しい銀座の柳：の『東京行進曲』ののち、昭和6年に柳並木として復活。しかし、東京大空襲で焼失、その後銀座の柳二世が再復活したという。
- 13JR 新橋駅：JR 新橋駅。
- 14 四等三角点「新橋」：この付近の再開発用に設置されたのだろうか、大都会では珍しい四等三角点、歩道植え込み内にある。
- 15 一等水準点 N015-02：（道路基準点）、これも、歩道植え込み近くにある。
- 16 新橋駅南高架下商店街：ここにも、飲食店などが軒を連ねる。
- 17 汐留再開発商店街：線路の東はシオサイトとして有名。西側もイタリア街等と呼ばれてレストランなどがある。
- 18 両翁学塾跡碑：福澤諭吉から譲渡を受けた慶応義塾跡の当地には、近藤真琴のする攻玉社と日本初の商船学校となる航海測量習練所もあった。
- 19JR 浜松町駅：JR 浜松町駅。
- 20 芝大神宮：江戸時代には、幕府の保護の下でにぎわったという、今はビルに囲まれた芝大神宮には、力比べをした力石がある。
- 21 お台場の石垣石：みなと図書館前には、波の浸食を受けたようすが見える、お台場の石垣石がある。

- 22 有章院霊廟二天門：有章院霊廟は第7代将軍徳川吉宗が1717(享保2)建立したもので、残された有章院霊廟二天門は、重要文化財である。
- 23 増上寺：明徳四年(1393年)に開かれ、慶長三年(1598年)に現在の地に移転した増上寺
- には、重要文化財の大徳院霊廟惣門のほか、カヤや銀杏の大樹、そして徳川家霊廟もある。
- 24 芝東照宮几号水準点 N02：内務省が1876年(明治9)頃から実施した水準測量で使用された几号水準点、芝東照宮鳥居右下にある。
- 25 伊能忠敬測量遺功表：東京地学協会が、伊能忠敬の偉業を顕彰して建てられた碑は、芝丸山古墳の先にある。
- 26 ペルリ提督の碑：米国ロードアイランド州ニューポート州から贈られた、ご存知ペルリ提督の碑と万延元年遣米使節記念碑がある。
- 27 芝鹿島社の几号水準点：芝鹿島社の狛犬の台座に刻まれた几号水準点。
- 28 勝海舟・最郷隆盛会見の地碑：江戸城東京開城を決めた、勝海舟と最郷隆盛会談が行われた薩摩屋敷の跡地。
- 29JR 田町駅：JR 田町駅。
- 30 一等水準点 No8：都会の水準点は、マンホールの中にある。
- 31 一等水準点 No15-005：水準点は、(道路基準点)歩道の車道よりにある。
- 32 札の辻橋：東海道線などを一挙に跨ぐ札の辻橋。橋の脇には、旧札の辻橋の石材で作られた碑が建つ。
- 33 新芝運河：新芝運河の向こうは埋め立て地だから、運河というより埋め立てによって取り残された海面といったところ。
- 34 提灯殺しのガード：正式名称は高輪橋架道橋。その高さは1.6mほどだから、タクシーの屋根の上にある提灯(電球)が壊れてしまうので提灯殺しというのだとか。
- 35 高輪大木戸の几号水準点：1710年に、江戸府内の南の出入り口として設けられた大木戸。
- 伊能忠敬の測量はここを起点とした。車道側に几号水準点が刻まれている。
- 36 泉岳寺：赤穂浪士の墓や大石内蔵助の銅像がある泉岳寺。境内入口には忠臣蔵グッズを並べるショップが並ぶ。
- 37 高輪消防署出張所：高輪消防署の二本榎出張所は現在でもモダン。交差点の向こうには、地名のもとになる二本榎跡がある。
- 38 桂坂：坂の両側に続く石垣が、急坂の雰囲気をもたせる。
- 39 高輪海岸の石垣石：江戸時代に、高輪海岸に沿って築かれていた石垣の一部が移転保存されたもの。
- 40 高輪神社：高輪神社では、三年に一度、神社大神輿の渡御が行なわれるという。
- 41 洞坂：洞坂は、「この辺りを洞村といったから」とも。東禅寺裏手の坂下には、それを証明するような、ほぼ四方を囲まれたような窪地は、ちょっと不思議な空間だ。

- 42 東禅寺（イギリス大使館跡）：安政 6 年（1859 年）に、日本初のイギリス公使館が置かれた。文久元年（1861 年）には、攘夷派の水戸藩士によって寺が襲撃されたことでも有名だ。
- 43 高輪公園：森に囲まれた東禅寺からの道に先にある都市公園。南西隅の石段を上るとホテル群のある高台に出る。
- 44 一等水準点 No9：水準点は、ここもマンホールの中にある。
- 45 光福寺（ゆれい地蔵）：石がとろけたような形になった地蔵は不気味。しかし、子安栄地蔵尊とあるから、さらに不思議だ。近くの味の素研修センターの古い門と塀がいい。
- 46 高輪プリンス H：気品あふれる高輪プリンスホテル貴賓館は、宮家・竹田宮の邸宅として、1911 年に竣工されたネオ・バロック様式の宮殿である。
- 47JR 品川駅：JR 品川駅。
- 48 一等水準点 No15-007：水準点は、（道路基準点）歩道の車道よりにある。JR 線高架下には最近できた飲食街が続く。
- 49 ハツ山橋・品川宿北：ここから品川宿が始まる。
- 50 善福寺：江戸の左官として前後に比類ない名人であったという、伊豆長八作のこて絵のある善福寺。
- 51 法禅寺：法禅寺は、品川小学校発祥の地でもある。
- 52 正徳寺レンガ塀など：付近も小路には、古井戸がいくらか残っている。そして、煉瓦塀も残る。
- 53 品川富士・品川神社：品川神社には、かつては海も見えていたはずの品川富士の高まりがある。そして、神社の裏手には板垣退助墓も。
- 54 東海禅寺：寛永 16 年（1639 年）に、徳川家光が沢庵和尚を招いて創建したという由あるお寺。
- 55 品川硝子製作所跡：日本最初のガラス工場跡地。のちに、靴製造で有名な西村勝三が「品川硝子製造所」として経営した。西村勝三の墓も東海禅寺墓地にある。
- 56 東海禅寺墓地（沢庵和尚・渋川景保墓など）：沢庵や賀茂真淵、渋川景保、井上勝の墓がある。
- 57 御殿山の坂：江戸時代初期、この地に将軍家の品川御殿が設けられて鷹狩の際の休息所としたことから御殿山と呼ばれるようになったという高級住宅街が続く坂道を少しだけ上る。
- 58 目黒川（居木橋）：桜並木が続く目黒川を渡って、大崎駅へ。
- 59JR 大崎駅：JR 大崎駅。
- 60 居木神社：居木（いるぎ）橋遺跡に立つ神社。この辺りは、かつて農業がさかんで、とくに居木橋カボチャが知られていたとか。
- 61 観音寺：石造庚申供養塔（延宝 5 年（1677））などがある。

- 62 目黒川（五反田大橋手前）：かつては、水質が悪い川の代名詞だったことが嘘のような、五反田大橋手前から見た目黒川。この辺りでは西岸にだけ桜並木が続く。
- 63JR 五反田駅：JR 五反田駅。
- 64 ねむの木の庭：皇后陛下美智子様のご実家・正田邸の跡地を品川区が譲り受け整備・開設した公園。
- 65 タイ国大使館：独特の雰囲気があるタイ国大使館。裏手にはコロンビア大使館もあり、その間には台地を回り込むような小路がちょっといい。
- 66 タイ国大使館南：この辺りを、明治大正期の高名な外交官・花房子爵にちなんで花房山という。島津山、池田山、御殿山、花房山、ハツ山を城南五山とも呼ぶらしい。
- 67 徳蔵寺：天正年間（1573～91）に創建されたという徳蔵寺には、五基の庚申塔と、添えられた塩を持ち帰り風呂で使うと諸病に効き目があるという塩地藏尊などがある。
- 68 目黒川（雅叙園脇）：この辺りの目黒川は、両岸に桜並木が続く。雅叙園側はしだれ桜。
- 69 目黒雅叙園：国の登録有形文化財に指定されている百段階段で有名な目黒雅叙園。一度は見学して見たい。
- 70 行人坂：寛永年間（1624 年）に行人をして、不良の輩を懲らしめるために、のちの大寺を開山したことにちなむ。坂の途中には目黒川架橋供養勢至菩薩石像がある。
- 71 大円寺：釈迦如来立像、大火にちなむ五百羅漢、とろけ地藏などで有名な大円寺
- 72JR 目黒駅：JR 目黒駅。
- 73 目黒駅北小路から：権之助坂を左にみて、目黒駅から北へ向かう小さな通りは、明治・大正期からの道すじ。そのつき当たりにある日の丸自動車教習所の建物が異様だ。
- 74 長者丸踏切：目黒駅から北へ向かう小路から東へ折れたところ。山手線と並行する埼京線には、平面交差の長者丸踏切がある。鉄ちゃんに聞かないと分からないが、埼京線の山手線の内側での踏切はここだけか？
- 75 恵比寿ガーデンプレイス：恵比寿麦酒製造所（札幌ビール恵比寿工場）跡地を再開発した恵比寿ガーデンプレイス。
- 76 恵比寿麦酒記念館：恵比寿麦酒記念館は見学できる。もちろんビールの飲み比べもできる。
- 77 アメリカ橋から：通称アメリカ橋（恵比寿南橋）の向こうにアメリカ風な建物が見えた
- 78 泉明寺：超モダンな泉明寺。
- 79 別所坂馬頭観音：別所坂馬頭観音は、1719 年に建てられたという。近くには、「ゆうてん寺道」、「不動尊みち」と刻まれた 1779 年に建てられた道しるべもある。
- 80 所坂庚申堂：別所坂のこの辺りに、1600 年～1700 年代のものだという六基の石塔が並ぶ庚申堂がある。
- 81 目黒新富士跡：富士の眺めが素晴らしかったこの辺りには、近藤重蔵の屋敷があつて、彼は新富士を築いたのだという。その証となる石像や御神体が発掘されたが、今は埋め戻されている。

- 82 別所坂：くねくねとして目黒川へと下る別所坂はかなりの急坂。
- 83 恵比寿神社：商店街の中にえびすさまを祀る恵比寿神社
- 84JR 恵比寿駅：恵比寿様が鎮座する JR 恵比寿駅。
- 85 内記坂：「内記」という役名の官吏がこのあたりに住んでいたことからその名がついたという。
- 86 東急代官山駅：この先にある木々に囲まれるという目切坂を訪ねそこなった。
- 87 代官山駅近くで：代官山では、めずらしい木造家屋に会う。
- 88 代官坂先の小路：代官坂を通らずに、この辺りではめずらしい（北東にある）小路をたどる。
- 89 ラ・フェンテの小路：代官坂の小路とは対照的な、ショッピングモールラ・フェンテ脇に作られた小路。
- 90 乗泉寺：本堂は国立近代美術館や帝国劇場などを手がけた谷口吉郎氏の設計だとか、寺院の雰囲気は無い。
- 91 桜丘町下る：桜丘町の桜並木から渋谷駅方向を見る。渋谷は谷底にある。
- 92 プラネタリウム：渋谷区文化総合センター大和田内に誕生したコスモプラネタリウム渋谷。
- 93 渋谷川：渋谷川が地上から見えるのはここまでで、この後は暗渠になって穏田川と宇田川に分流する。
- 94JR 渋谷駅：JR 渋谷駅。
- 95 渋谷駅前スクランブル交差点：ご存知、渋谷駅前スクランブル交差点を通過する。
- 96 スペイン坂：この辺りをスペイン坂と呼ぶらしい。
- 97 オルガン坂上：周辺に音楽関係の店が多かったからつけられたというオルガン坂。渋谷税務署へ向かう小路の名前は？
- 98 二・二六事件慰霊碑：二・二六事件関係者が処刑死した東京陸軍刑務所の跡地に同慰霊碑が建つ。
- 99 国木田独歩住居跡あたり：田山花袋が訪ねたときには、田んぼの中に水車が見える丘の上にあったという国木田独歩住居。跡碑は見つからなかったが、近くにポケットパークがある。
- 100 穏田川跡：渋谷川の上流、穏田川跡に出る。この通りをキャットストリートと呼ぶ。穏田川は、こののち新宿御苑東脇から玉川上水へと続く。
- 101 穏田川跡分岐：穏田川は、この辺りで明治神宮南池方向への支流が分岐する。
- 102 穏田川南池方向への支流：分流した川跡の蛇行道が原宿駅方向へと進む。
- 103 旧参道橋：かつて、このあたりに穏田川を跨ぐ参道橋があつて、今も橋柱が残っている
- 104 竹下通り：若者向けの竹下通りの賑わいは、私には馴染めない？

- 105 東郷神社：日露戦争の最連合艦隊司令官として、日本海海戦を指揮した東郷元帥を祀る東郷神社。
- 106JR 原宿駅：：休日には賑わいを見せる JR 原宿駅。
- 107 お召し列車通り：この辺りをお召し列車通りと呼ぶらしい。
- 108 皇室専用ホーム： JR 原宿駅の北には、皇室専用の特別の駅である皇室専用（宮廷）ホームを柵の外からのぞく。
- 109 住宅街に燈籠：この辺りは、デザイン関係の専門学校や事務所が多い。その道路の角に、なぜかぼつんと燈籠が残る。
- 110 北参道入り口：今回は、眺めるだけで通過した明治神宮北参道入り口。
- 111 穂田川南新宿方向への支流：穂田川の南新宿方向へ支流跡は、明治通りの先から千代通りへと続き、南新宿駅先の文化服装学院方向へと向かう。
- 112JR 代々木駅： JR 代々木駅。
- 113JR 新宿御苑：おなじみの新宿御苑を散策しながら縦断する。
- 114 四谷大木戸と玉川上水：江戸時代、このあたりに四谷大木戸があって、玉川上水の終点でもあった。ここから先の上水は、地下に埋設された木製又は石造りの樋により各所に配水された。
- 115 天龍寺：時の鐘で知られる天龍寺には、かつては隠田川の源となる池があった。豪快な山門も残る。
- 116JR 新宿駅南口：いつまでも工事中の JR 新宿駅南口。
- 117JR 新宿駅東口：かつては、東口のシンボルのような存在だった新宿駅東口の大きな排気口の先には、高層ビルが立ち並ぶ。
- 118 モザイク通り：小田急裏の小さな商店街をモザイク通りと呼ぶ。
- 119 思い出横丁：雑然とした小さな飲食店が軒を寄せる風景は、昔のままだ。それで、思い出横丁と呼ぶ？
- 120 新宿大ガード：東と西を分ける新宿大ガードをくぐり、歌舞伎町を素通りする。
- 121 コリアタウン：ハンゲルが氾濫するコリアタウンは、韓流ブームを受けて賑わいがある。
- 122 戸山公園：コリアタウンから、いくらか古い建物も残る住宅街をまっすぐ抜けて戸山公園へ。
- 123JR 高田馬場駅：向こうに見えるのが、JR 高田馬場駅。
- 124 神田川：高田馬場駅から氷川神社へと連なる小さな商店街を抜けて、清水川橋で神田川を渡る。
- 125 西武新宿線を横切る、：西武新宿線を踏切で横切る。
- 126 相馬坂：明治になって相馬家が買い取り屋敷を建てたことから、相馬坂といわれるようになったとか。
- 127 氷川神社：住宅街の中の氷川神社では、早咲きの桜が満開だった。

- 128 下落合野鳥の森：薬王院の東には、小さな池のある野鳥の森がある。
- 129 薬王院：奈良長谷寺の末寺だという薬王院は、ハケの途中にあってボタンの名所。
- 130 薬王院西階段：薬王院の西の塀に沿って上る石段は、息をきるほど急傾斜で上るいい雰囲気階段道。
- 131 七曲り坂：台地を上るこのあたりには、坂道が多い。ここは名前の通りくの字に曲がった坂。
- 132 おとめ山公園：江戸時代にこの一帯が徳川家の狩猟地で一般人の立ち入りが禁止されていたことからこの名前があり、ハケからの湧水が見られる。そして蛸も。
- 133 道路の中の大ケヤキ：高級住宅街の道路のまん中に大ケヤキが立つ。
- 134JR 目白駅：JR 目白駅の東側は、学習院大学が見どころ。
- 135 目白庭園：こじんまりした回遊式の日本庭園の中には、お茶などをする赤鳥庵という和風建築の建物がある。
- 136 西武池袋線を横切る：西武池袋線を踏切で横切る。
- 137 自由学園：自由学園明日館は、1921 年（大正 10）に、羽仁吉一、もと子夫妻が創立した自由学園の校舎として、アメリカ人フランク・ロイド・ライトの設計により建設された。
- 138 自由学園の先で：蔓草が緑茂った時に訪ねてみたくなるような、ちょっとした家。
- 139 元池袋史跡公園：弦巻川の水源地だった丸池跡には、池袋のいわれを記した碑がある。
- 140JR 池袋駅：1 日平均の利用者数は約 270 万人で、新宿駅に次いで世界第 2 位の JR 池袋駅。
- 141 連絡地下道：西口のトウキョウチャイナタウン？を少し見て、連絡地下道をくぐって東口へ。
- 142 稲荷大明神：池袋駅すぐ近くに、正式には（池袋）四面塔稲荷大明神と呼ぶ社が 2 棟並んでいる。
- 143 水天宮：これも池袋駅すぐ近く、4 体の個性的な地蔵？が並ぶ小さな水天宮がある。
- 144 池袋六叉路：大田区に七六叉路があるらしいが、これだけ交通量のある道路での六叉路は珍しい。
- 145 庚申塚：池袋駅からこのあたりまでに、庚申塚がいくつか散在している。
- 146 都電荒川線：都電荒川線を踏切で横切って大塚駅方向へ。
- 147 天祖神社：大塚駅近くの小さな森にある天祖神社。
- 148 大塚さんも一る：大塚さんも一ると名のあった小路にあった八百屋と魚屋。
- 149JR 大塚駅：JR 大塚駅。
- 150 大塚架道橋：M35 年建築のレンガ造りの橋台は、今も現役である。
- 151 大塚駅北都電荒川線：都電荒川線は、ここから飛鳥山を経て三ノ輪へ向かう。
- 152 とげぬき地蔵：ご存じおばあちゃんの原宿の中心は、霊験あらたかな延命地蔵菩薩や洗い観音のあるとげぬき地蔵だ。

- 153 地蔵通り商店街：地蔵通り商店街は、いつでも高齢者の賑わいがある。
- 154 本妙寺：本郷丸山から移転した本妙寺には、遠山の金さんの墓や千葉周作の墓、振袖
火事供養塔もある。
- 155 慈眼寺門前不染橋石碑：慈眼寺の門前には、「不染橋」と刻まれた石碑が残る。藍染
川支流を跨ぐ橋のものか？
- 156 慈眼寺：本所から巢鴨に移転したという慈眼寺には、芥川龍之介や谷崎純一郎の墓が
ある。
- 157 染井霊園井戸：染井霊園には、多くの著名人の墓があって、管理事務所で地図がいた
だけ。なぜか井戸も残されている。
- 158 染井霊園松浦武四郎墓碑：著名人の墓が多くある染井霊園には、蝦夷地を探検し地図
を作製した松浦武四郎墓碑もある。
- 159 染井霊園長池跡：染井霊園長池は、藍染川（谷田川）の支流の源になるところ。
- 160 長池から藍染川支流：、染井霊園長池から始まる藍染川（谷田川）の支流跡の道筋は、
低所をそれらしく蛇行している。
- 161 染井吉野（桜）碑：名前の通り 染井吉野はこの地域（駒込・巢鴨）で発祥した。JR 巢
鴨駅近く、「豊島区立 染井吉野桜記念公園」などには、かつての植木の里を示す染井吉
野（桜）の碑がある。
- 162JR 巢鴨駅： JR 巢鴨駅。
- 163 六義園正門：川越藩主柳沢吉保の手になる六義園は、回遊式築山泉水の大名庭園で、
しだれ桜が迎えてくれる。
- 164 六義園：小石川後楽園とともに江戸の二大庭園である六義園は、散策道の、どこから
見ても絵になる風景がある。
- 165JR 駒込駅： JR 駒込駅。
- 166 駒込東公園：ハケの縁に位置する駒込東公園は、起伏に富んだ地形が特徴である。
- 167 アザレア通り：アザレア通りは、藍染川（谷田川）跡に延々と連なる商店街の一つ。
- 168 田端銀座商店街：昔懐かしい雰囲気と賑わいを見せる田端銀座商店街。
- 169 大龍寺：大龍寺には、正岡子規や板谷波山墓がある静かな寺に葬って欲しいという。
正岡子規の日頃の希望に沿って、弟子達が探したのが、武蔵野台地の端にあり、林に囲
まれた大龍寺だったという。
- 170 室生犀星旧居跡：室生犀星旧居跡には、この地に住まいした文人を紹介する地図があ
るだけ。
- 171 田端文士村記念館：かつて、この地に住まいした芥川龍之介、小杉放庵、室生犀星、
板谷波山といった文人を紹介する田端文士村記念館。
- 172JR 田端駅：大昔の海成段丘の上から見下ろした、その海岸縁にあるのが JR 田端駅。
- 173 与楽寺坂：坂の名は、坂下にある与楽寺に由来している、JR 田端駅方向から与楽寺へ
抜ける坂道。

- 174 幽霊坂：与楽寺へ下るもう一つの坂、幽霊坂は擁壁に囲まれている。
- 175 与楽寺：賊除（ぞくよけ）地蔵伝説が残り、本尊の地蔵菩薩は、賊除地蔵と呼ばれている。ある夜、盗賊が与楽寺に押し入ろうとしたが、どこからともなく、多数の僧侶が出て来て盗賊の侵入を防ぎ、遂にこれを追い返した。翌朝、本尊の地蔵菩薩の足に、泥のついてるのが発見され、地蔵菩薩が僧侶となって盗賊を追い出したのだと信じられるようになり、これより本尊の地蔵菩薩は、賊除地蔵と称されるようになったという。
- 176 向陵稲荷坂：右手崖の縁に向陵稲荷があることから呼ばれている。
- 177 ひぐらし坂：ごく最近、ひぐらし坂と呼ばれるようになった。江戸時代に風光明媚な地であることから「日暮里」という字が当てられ、「ひぐらしの里」とも呼ばれるようになった。
- 178JR 西日暮里駅：JR 西日暮里駅。
- 179 道灌山（公園）：その昔、虫聴きの名所として、涼を求めて人々が集まったところ。広重の絵などが掲示されている。
- 180 青雲寺：青雲寺は、江戸時代から花見寺として親しまれ、谷中七福神の恵比寿神が、そして滝沢馬琴の筆塚碑、硯塚の碑がある。
- 181 修性院：ここも江戸時代から花見寺として親しまれ、谷中七福神の布袋尊がある。
- 182 富士見坂下：ビルの中に富士山が望める富士見坂。
- 183 六阿弥陀道：寺町通りともいえる阿弥陀道は、くねって続く。南泉寺前に六阿弥陀道の石碑が建つ。
- 184 ゆうやけだんだん：夕日に向かって下る階段の先は、軒下に猫が飾られ、賑わいを見せる谷中銀座商店街。
- 185 経王寺：明治初年、旧幕府の家臣による彰義隊と新政府軍との上野戦争の際に、逃走した彰義隊戦士の一部が経王寺にかくれたために同寺は新政府軍に包囲された。山門には新政府軍が発砲した銃弾の痕が今も残っている。
- 186 本行寺：景勝の地であったことから通称「月見寺」と呼ばれ、道灌丘碑や一茶の句碑（「陽炎や 道灌どこの物見塚」）がある。
- 187JR 日暮里駅：JR 日暮里駅。
- 188 日暮里駄菓子屋：かつて、この辺りに駄菓子問屋街があった。一般客でも購入することができる駄菓子問屋が、再開発ビルに2軒だけ残っている。
- 189 羽二重団子：根岸芋坂 羽二重団子は、文政2年の開業。王子街道の道標が立つ。
- 190 善性寺：六代将軍徳川家宣の生母長昌院が葬られている。将軍が参詣時に渡ったという門前の音無川にかけられた橋を将軍橋という。
- 191 ねぎし三平堂：林家三平師匠の博物館で、師匠が保存していた台本や衣裳、ネタ帳、レコードなどを展示している。
- 192 子規庵：正岡子規が、病身の中で活動し、命の炎を燃やし尽くした家を当時のままに再建したもの。夏目漱石、森鷗外、中村不折などの多くの歌人や作家が集った。

- 193 書道博物館：小説『吾輩ハ猫デアル』の挿絵で有名な、洋画家・書家であった中村不折（1866-1943）が蒐集した、書や石碑、篆刻などの資料からなる博物館。
- 194 とうふ笹乃雪：赤穂浪士や正岡子規も食したという豆腐料理の笹乃雪の門前には、正岡子規の句碑が立つ。
- 195JR 鶯谷駅：JR 鶯谷駅は、利用客が山手線内では一番少ないのだとか。
- 196 入谷鬼子母神：「恐れ入りやの鬼子母神」という洒落言葉と、かつて当地周辺で栽培された朝顔の市が開かれることで知られる入谷鬼子母神。
- 197 源空寺（伊能忠敬墓）：ご存じ、『伊能図』で有名な、わが国最初の実測地図を作成した伊能忠敬の墓がある。隣接して高橋至時、高橋景保墓もある。
- 198 銀座線踏切：ここに東京メトロ銀座線の上野検車区が地上にあり、地下鉄で踏切があるという珍しい場所。
- 199 下谷神社：下谷神社には、龍の天井画と「寄席発祥の地」の石碑がある。
- 200 仏壇仏具問屋街：東上野のこのあたりには、仏壇仏具の問屋が建ち並んでいる。
- 201JR 上野駅：JR 上野駅は、東京の「北の玄関口」。
- 202 上野大仏：現在の台東区上野恩賜公園内に高さ約 6 メートルの大仏があったのだが、度重なる罹災などにより損壊し、現在では顔面部のみが大仏山と呼ばれる小山にレリーフとして保存されている。
- 203 すり鉢山：上野の山のそのまた山は、すり鉢山と呼ばれ、約 1500 年前の前方後円墳だとか。
- 204 清水観音堂：清水観音堂（重要文化財）は、京都の清水寺を模して作られていて、桜の花越しに不忍の池を見下ろすように舞台が広がる。
- 205 アメヤ横丁：アメリカ軍の払い下げ物資を安く売り捌く店が多く集まったことからアメヤ横町と呼ばれたらしい。魚介類や乾物、衣類、雑貨、宝飾品などの店が多い。もちろん、飴屋も。
- 206JR 御徒町駅：JR 御徒町駅
- 207 箭弓稲荷神社：銀杏稲荷とも呼ばれていたという小さな社殿は、ビルの谷間の不思議な空間にある。
- 208（外神田 5）稲荷神社：スリムな狐がいる稲荷神社は、その名前をメモするのを忘れた。
- 209 秋葉原駅へ：秋葉原駅へ向かうこの辺りは電気部品を扱う店が軒を連ねる
- 210 伊東玄朴旧宅跡：蘭学者で種痘法を開始したことで有名な伊東玄朴旧宅跡・種痘所跡は、案内板だけ。
- 211 滝沢馬琴住居跡：「南総里見八犬伝」、「椿説弓張月」、「近世説美少年録」などを著した滝沢馬琴の住居跡は案内板だけ。
- 212JR 秋葉原駅へ：メイドが迎えて、もうすぐ JR 秋葉原駅
- 213 万世橋：旧万世橋駅近く、神田川にかかる万世橋は、1930 年（昭和 5 年）に現在のアーチ橋に架け替えられたもの。

- 214 柳森神社（靱蔵跡カ石群）：太田道灌が江戸城の鬼門除けとして柳の木をたくさん植えたことからこの名がついたという。一段下がった位置にある境内には、立身出世のご利益のある個性的なタヌキ像、「おたぬき様」が鎮座している。さらに、若者たちが力試しを競っていたと伝えられる「カ石」群、富士塚跡など、狭い境内に見どころがたくさんある。
- 215 千葉道場跡：（千葉定吉道場に入門した）坂本龍馬も出稽古に通ったことがあるという、北辰一刀流 千葉周作の「玄武館」道場跡は、旧千桜小学校跡地入り口にある。
- 216 繁栄お玉稲荷大明神：この辺りに、茶店のお玉が身を投げたというお玉が池があり、江戸の初めには不忍池よりも大きかったといわれる。そのほとりにあった稲荷神社。ほとりにあった茶店のお玉という女性が池に身を投げたとの故事から、お玉が池と呼ばれるようになったという。池を思わせる小さな水たまりも。近くには「お玉ヶ池種痘所跡」もある。
- 217 丸石ビル：1931（昭和 6）年 3 月に竣工、「近世ロマネスク様式」の丸石自転車社屋「丸石ビル」は、国の登録文化財である。
- 218JR 神田駅：JR 神田駅近く千代田橋ガード
- 219 竜閑橋・竜閑橋架道橋：竜閑橋は、大正 15 年(1926)に造られた日本最初の鉄筋コンクリートトラスの大変に珍しい橋とか（一部保存）。近くの JR 線下には、レンガ造りの竜閑橋架道橋もある。
- 220 常盤橋・常盤橋門跡：老朽化が激しいが、趣のある常盤橋は明治 10（1877）年建造で、東京では最も古い橋のひとつ。隣接する常盤橋門は、かつて江戸城外郭の正門だった。
- 221 常盤橋公園（渋沢栄一像）：常盤橋公園には、第一国立銀行の初代頭取渋沢栄一の像が立つ。
- 222 北町奉行所跡：北町奉行所と言えば、桜吹雪で有名な「遠山の金さん」のお勤めしたところ。発掘調査で遺構が発見された。
- 223JR 東京駅へ：シャングリラ・ホテルを経て JR 東京駅へ向かって終わり。